

私たち地域の取り組み～防災・減災のために～

田原中部校区地域防災研究会



第1回田原中部校区地域防災研究会の様子

中部校区の地域防災力を高めるために、平成17年に、平成17年に設置。この研究会には、巴江町・本町・新町の各町内会を主体に、中部校区が一体となり田原市と共同で各種取り組みを進めています。

研究会の主な取り組み

中部校区約2400世帯に対して防災に関する住民意識調査を実施（現在は中間報告を取りまとめ、市民意識の傾向と課題などが明らかになりつつある）大規模災害が発生したとき、一時的に避難する場所から地震災害避難場所までの経路など、安全確保にかかる避難路実態調査を実施

近隣防災広場として一時集合場所を設定し、ベンチ型などの格納箱に突発的に必要となる資機材（ハンマー・ジャッキなど）の配備を進めている

モデル的な取り組み

加治区自主防災会



9月4日に開催された防災まちづくりキックオフ宣言式

加治区は、平成17年度に愛知県の防災モデル事業地区に指定されました。特徴は、自主防災会長や加治区

防災リーダー（1名）をサポートする地区防災リーダー・サブリーダー（38名）の存在が大きく、各地区で細部にわたる防災サポートが実施できることで、区民の参画や協力、理解が得られ、安定的な加治区防災まちづくりが実現できているところにあります。また、防災への取り組みを積極的に進める」と、取り組む意志を明確にする手法として「災害死者ゼロ」を目指した「キックオフ宣言」を表明しています。

防災会の主な取り組み

隣近所呼びかけ訓練を実施
消防・防災施設の位置の確認
消防器具箱内の設備点検
ブロック塀などを防災リーダー・サブリーダーが点検
防災ウォッチングなどを実施

野田中学校



地震防災集会の様子

野田中学校3年生は、総合学習で「地域に働きかけの活動、地域の役に立つ活動」をテーマにした取り組みとして、地震防災の活動に着目し学習しています。消防署で三角巾や救急法を学び、お年寄りの家に印を付けたマップの作成や、震災のときに必要な重機・道具などがどこにあるかなどを調べ、地域の一員として自分たちができるようなことを学び、地域の人間に広めようと動きだしました。

防災活動の取り組み

地域防災活動の必要性を感じる
地域で防災活動に取り組むことの必要性や中学生でも防災活動の大きさ
自分たちが取り組む活動を考える
「応急手当」「防災マップ」「もう一つの防災マップ」「地震の知識」「防災袋」の班に分かれ、地震や防災の知識を得るために活動。
地域防災集会の開催

「ぼうさい甲子園」で優秀賞を受賞



「ぼうさい甲子園」表彰式（兵庫県神戸市）で賞状を受取る鳥山浩輔くん（中央）隈部彰悟くん（右）

い、これまでの学習・活動内容を地域の方150人の前で発表。また、当団は300人分の炊き出しを中学生の手で実施。

11月13日（日）、地震防災集会を行

「ぼうさい甲子園」で優秀賞を受賞された野田中学校は、防災への活動が認められ、毎日新聞大阪本社、人と防災未来センター、兵庫県が主催する「ぼうさい甲子園」（1・17防災未来賞）中学生の部で、優秀賞を受賞しました。1月8日（日）、兵庫県公館（神戸市中央区）において、表彰式と発表会が行われました。代表生徒2名が参加し、「防災マップ作成」「応急手当の講習」「地震防災集会」などの活動内容を発表しました。詳しくは、毎日新聞「ぼうさい甲子園」のホームページにて。
<http://www.mainichi.co.jp/kouken/bousai/>